

(仮称) 重点戦略の考え方とテーマイメージ

■ (仮称) 重点戦略とは

基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けて、限られた財源や人材を有効に活用しつつ、重点的・分野横断的にアプローチしていくための方向性を明らかにするもの。

さいたま市総合振興計画あり方懇話会報告書（平成 24 年 3 月）（抄）

人口減少・超高齢社会の到来によって、行政需要が拡大する一方で財政上の制約が強まっていくことが大いに懸念される中で、さいたま市が将来にわたり自立した都市経営を推進するためには、自助・共助・公助という基本的考え方に立ち、従来にも増して限りある行政の経営資源を重点配分することが求められる。

今後の総合振興計画では、市長が掲げる施政方針や市を取り巻く社会経済情勢の変化の見通し、住民ニーズなどを十二分に踏まえつつ、緊急性（時間）及び波及性（効果）といった観点から、例えば、経営資源を特に重点的かつ優先的に投入すべき施策や事業群をリーディング・プロジェクトとして打ち出すなど、施策や事業の重点化に対応した計画となるよう工夫が必要である。

さいたま市総合振興計画次期基本計画等策定基本方針（抄）

（平成 24 年 4 月 4 日さいたま市総合振興計画次期基本計画策定本部決定）

基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けて、計画全体の推進を先導し、さいたま市らしさを生み出す「重点プロジェクト」の設定を検討する。

■ (仮称) 重点戦略に求める視点

- (1) 将来都市像の実現に向けて、特に「重要性」が高く、分野横断的に取り組むべきテーマに関するものであること。
- (2) 市民の視点に立ち、多くの共感を得ることのできるものであること。
- (3) 「さいたま市らしさ」の創造につながるものであること。

将来都市像

『多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市』
『見沼の緑と荒川の水に象徴される環境共生都市』
『若い力の育つゆとりある生活文化都市』

分野横断的かつ重点的なアプローチ

【7つの分野】 ①環境・アメニティ ②健康・福祉 ③教育・文化・スポーツ ④都市基盤・交通
⑤産業・経済 ⑥安全・生活基盤 ⑦交流・コミュニティ

(仮称) 重点戦略（テーマイメージ）

- 戦略1 人や企業が集まるまちをつくる ←人口減少社会の到来
戦略2 高齢者が元気に活躍できるまちをつくる ←急激な高齢化
戦略3 子どもが笑顔で健やかに育つまちをつくる ←少子化
戦略4 みんなで安全・安心なまちをつくる ←コミュニティの希薄化、安全安心の確保
戦略5 . . .